



第114号

発行・編集  
 杵藤農林事務所  
 藤津農業  
 振興センター  
 TEL0954-62-5221



## 誰もが安心して従事できる 農業のために

山本剛士さん（46歳）

令和4年に鹿島市にUターン就農し、根域制限栽培を中心としたみかんとモモを2ha経営されている山本剛士さんを紹介しします。

山本さんの家は祖父の代から続く果樹農家です。就農前は県外のビルメンテナンス会社に勤めておられましたが、地元果樹農家の減少に危機感を抱き、2年前に戻ってこられました。現在は鹿島市の先進農家のもとでブドウの栽培管理技術の習得に励んでおられ、新たにハウスシャインマスカットを導入されます。

山本さんが理想とするのは「誰もが安心して従事できる農業」です。別業種の仕事を経験し

たからこそ、農業の現場を取り巻く労働環境に疑問を持たれる部分もあり、このままでは、近い将来、他業種との人材獲得競争に勝てなくなると危惧されています。そこで、前職の経験を活かした作業マニュアルの作成や、それを従業員の見解を取り入れ、柔軟に改変できるような農業を目指されています。

また、収益性と作業性に優れるみかん根域制限栽培園を居ぬき継承で積極的に拡大したり、地元の若手と協力して、大殿分地区の果樹の再構築にも取り組んでおられ、果樹産地に新しい風を吹かせてくれることが期待されます。



# 受賞おめでとうございます

## <全国優良経営体表彰>

### 6次産業化部門 「農林水産大臣賞」受賞

嬉野市 有限会社 ナカシマファーム 代表 中島 大貴氏

平成6年に法人化し規模拡大と自給飼料の生産により築かれた酪農経営を基盤に、6次産業化に取り組まれてきました。自社牛乳を使ったアイスの委託加工を経て、現代表の中島大貴さんが就農3年目から本格的にチーズの製造・販売を開始。令和3年の経営継承を契機に、旧長崎街道の宿場町塩田津と新設の新幹線嬉野温泉駅前にカフェをオープンされています。クリエイターと連携したデザインで自社の強みを発信する農村ビジネスの展開が評価され、農林水産大臣賞の受賞となりました。



### 働き方改革部門 「経営局長賞」受賞

嬉野市 吉牟田園芸 代表 吉牟田 太氏

嬉野市で野菜・花・水稻苗の生産をされています。接ぎ木苗を経営の柱として、佐賀県そして九州の園芸生産のスタートを支え、地域農業の発展に多大なる貢献を果たされています。「リーダー育成と業務の見える化で、個々が動ける職場づくり」をポイントに、従業員自らが考え、働き甲斐のある職場を目指して、農業の働き方改革に取り組まれています。栽培管理の見える化を目的に「生産管理システムの導入」を行い、さらには「従業員の育成」を目的に、従業員によるチーム体制や委員会活動の整備を実施されています。また、休憩室や技能実習生の住居の整備、猛暑への対策など、従業員が働きやすい職場づくりにも努められています。これらの取組により、従業員の働き甲斐向上とコミュニケーション・連携向上を実現し、社長不在でも業務が進められる体制を構築されています。地域の農業経営のモデルとなる経営体として、今後ますますのご活躍が期待されます。



### 販売革新部門 「全国担い手育成総合支援協議会会長賞」受賞

太良町 有限会社 かねひろ 代表 川崎 豊洋氏

平成元年に父親から引き継いだみかん園4haから基盤整備等による省力化および高品質果に取り組む、全国有数のカンキツ大規模経営(21ha)を実現し、平成17年に果樹経営法人を設立されています。カンキツでの品種構成の分散、ブドウ、6次産業化への取り組み拡大により、常時雇用を確保されています。また、独自開発した黒酢アミノ酸による栽培方法で、糖度と酸のバランスのよいみかんの生産に成功されています。「黒酢みかん」として平成27年商標登録、ブランド化し、年間250tを生産、出荷業者との契約販売により収益を確保されています。「黒酢みかん」は、ふるさと納税サイト「みかん」部門で7年連続1位を獲得するとともに、地域の農家にフランチャイズ制で生産してもらい、高価格で買取ることによって収益を分配し、地域貢献につながられています。





# 受賞おめでとうございます

## 快挙!! 『うれしの茶』2年連続 日本一&「日本農林漁業振興会会長賞」受賞!!

第78回全国茶品評会（静岡県）の蒸し製玉緑茶の部で白川稔さん（嬉野市）が、釜炒り茶の部で吉牟田敏光さん（嬉野市）が、それぞれ最高賞の農林水産大臣賞を受賞。さらに、嬉野市も同2部門で、最も優れた茶産地に贈られる産地賞を2年連続で受賞。

うれしの茶が2部門で個人でも産地でも日本一を獲得したのは昨年度に引き続き2年連続です。コク深く香り高いうれしの茶の品質の高さが全国に向けて発信されました。

さらに、過去1年間の全国の農林水産大臣賞受賞者の中から、より優れた生産者を選賞する第63回農林水産祭の農産・蚕糸部門で、三根孝之さん（嬉野市）が日本農林漁業振興会会長賞を受賞されました。

三根さんは昨年度、全国茶品評会の蒸し製玉緑茶の部で農林水産大臣賞を受賞され、産地を代表する高品質茶生産者である共に、地域の茶業青年をリーダーとしてけん引し、異業種と連携した地域活性化に取り組まれている活動が高く評価されました。今後も農業の垣根を超えた活躍が期待されます。



## 快挙!! 日本茶AWARDで「プラチナ賞」受賞

日本茶AWARD2024の烏龍茶部門で太田裕也さん（嬉野市）の「嬉野烏龍 紅（あか）」が最高評価「プラチナ賞」を受賞しました。同大会では審査員に専門家だけでなく、一般消費者が多数含まれ、消費者が「美味しい」と感じた多種多様なお茶が評価されます。

受賞した「嬉野烏龍 紅」は、釜炒り茶製法を応用して作られ、ライチや蜜のような香りと優しい甘みが特徴です。同部門での受賞は県内初の快挙で、益々『うれしの茶』の可能性の広がりが期待されます。



## 藤津地区4Hクラブ員が九州大会で発表!

令和6年度九州・沖縄地区青年農業者会議が7月17日～18日に宮崎県で開催されました。佐賀県代表として、嬉野市の松田二郎さんが「プロジェクト発表の部」に出場され、自身のこだわりのお茶を最大価値で消費者に届けるための取組について発表されました。自ら生産した茶葉を活用した「Chayajiro the BAR」の経営という斬新な取組報告により、会場に大きな衝撃を与えました。惜しくも全国大会出場は逃しましたが、発表後、九州農政局がヒアリングに来るなど、注目度が高まっています。「Chayajiro the BAR」も連日賑わっており、今後も地域や茶業界への貢献が期待されます。







# 地域トピックス

## 産地強化のため「はじめようセミナー」を生産部会主体で開催！

8月18日にシャインマスカット、11月10日にみかんの「はじめようセミナー」が生産部会主体で開催されました。

それぞれ13名、10名の参加があり、それぞれの部長から「稼ぐ農業」が確立されていることや就農後の支援体制が紹介されるとともに、座学では各栽培品目の特徴、現地では先進農家の栽培状況を研修しました。

セミナーをきっかけに新規就農や新規品目の導入につながり、親元就農やUターン就農等が急増し、果樹産地の体質強化につながっています。



## 水稲乾田直播栽培で移植栽培の労働時間を81%削減

嬉野市塩田町で水稲乾田直播栽培を実施し、作業別労働時間を調査した結果、「種子予措～除草」にかかる労働時間は4.37時間/10aで、移植栽培にかかる労働時間の81%を削減可能であることが明らかになりました。

農家からは、「乾田直播栽培に取り組むことで、これまで人手が必要だった育苗管理や苗運び、移植前の代かき作業を省略することができた。将来、さらに人手不足になっても、大幅な労働力削減が可能な乾田直播栽培なら稲作を続けられる。思い切って乾直栽培に取り組んでよかった」との意見を聞くことができました。

乾田直播は、漏水対策、播種時の土壌水分や雑草防除に注意が必要ですが、担い手の高齢化進展や人手不足に対応し、持続可能な稲づくりを実現するための手段として活用が期待されています。



播種作業

作業名	★水稲の10a当たり作業別労働時間		備考
	移植 (R3佐賀県) (時間/10a)	乾田直播 (アグリ三新) (時間/10a)	
種子予措	0.16	0.08	・移植(種子消毒、浸種) ・乾直(種子塗布処理)
育苗	2.95	0	・播種、育苗管理、箱施薬剤
耕起整地	3.36	1.12	・移植(耕起、入水、代かき) ・乾直(耕起)
基肥	1.08	1.08	ブロードキャスト
田植	3.65	0	苗運搬、移植
直まき(乾直)	0	0.79	播種、鎮圧、移動時間含む
追肥(穂肥)	0.34	0.34	動散、ドローン
除草	0.48	0.96	乾直(播種前処理、移植後処理、入水前処理、本田処理)
合計	22.85	4.37	△ 18.48
	(100)%	19.1%	△ 80.9%

乾田直播栽培の労働力試算

## 第26回全国農業担い手サミット藤津地域交流会を開催

令和7年1月22～23日に全国農業担い手サミットが佐賀県で開催され、当地区でも藤津地域交流会として、22日には県外からの農業者等135名と管内の農業者等38名の参加により鹿島市「割烹清川」にて情報交換会、23日には管内4コースで農業士をはじめ関係機関等に御尽力をいただき現地研修会を行うことができました。

令和5年度から少しずつ準備を始めて、本番を迎え無事終了したことで事務局としてはほっとするところであり、これもひとえに関係者の皆様の多大な御支援と御協力の賜物と感じております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

この担い手サミットを契機として農業者の皆様方の経営発展につながればと思います。



情報交換会



現地研修会